対象年次 2単位 対象年次 2単位 教科書/教材 必 <b>担当教員 1</b> <b>学習目的</b> でよりにつり関係を見いる <b>到達</b> 現るより なりまする。係 <b>教育方法等</b> 体優	・演劇科 次 に応じて随時、課 舞・磯辺万沙子・ する学生は基礎演技 神的、肉体的に成身 らの能力は演劇界 好に保つ事は非常に 者(観客)に正確に ろん、演劇の作りで	果題のテキス 西久保治好 支川を通ことができることによる。 に伝えって協能	コース名 科	必修 実布 ・発演技業では、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の選しし、 ・経験の ・経験の ・経験の ・経験の ・経験の ・経験の ・経験の ・経験の	他人を思いや業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	開設期時間数有・しき目をしまります。	前期 70時間  女優 演出家  ジカを向上させ、より身体的表現の多様 会く目的を達する事を可能にする人間カースな交流を可能にする。実社会においる。  。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を また、役者のあり方を学ぶ事によって自
開設学科 声優 対象年次 2単位 対象年次 2単位 教科 3	次に応じて随時、課年・磯辺万沙子・する学生は基礎演活神的、肉体的に成身の能力は演劇界好に保つ事は非常によるん、演劇の作りで	果題のテキス 西久保治好 支川を通ことができることによる。 に伝えって協能	科目区分授業形態ト及び台本学でさまる。ず、劇をを破れる。	実習配布を発展されている。 と発展を関するとは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	成果発表に向け 他人を思いや 業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	市間数 有・俳優 一シ、粘のとして とする	70時間  女優 演出家  ジカを向上させ、より身体的表現の多様
対象年次 2単位 教科書/教材 2単位 教科書/教 <b>担 担 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對</b>	次に応じて随時、課年・磯辺万沙子・する学生は基礎演活神的、肉体的に成身の能力は演劇界好に保つ事は非常によるん、演劇の作りで	果題のテキス 西久保治好 支川を通ことができることによる。 に伝えって協能	科目区分授業形態ト及び台本学でさまる。ず、劇をを破れる。	実習配布を発展されている。 と発展を関するとは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	成果発表に向け 他人を思いや 業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	市間数 有・俳優 一シ、粘のとして とする	70時間  女優 演出家  ジカを向上させ、より身体的表現の多様
単位数 2単位 数 4 2 単位 数 4 3 4 3 4 5 4 5 5 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 6 5 6 6 6 6	は に応じて随時、課 舞・磯辺万沙子・ する学生は基礎演打 神的、肉体的に成身 かの能力は演劇界 好に保つ事は非常に 子のに保つ事は非常に おい、演劇の作りで	果題のテキス 西久保治好 支川を通ことができることによる。 に伝えって協能	授業形態 ト及び台本 学んだる。ず、劇を とを破せた を破せた 動の意味を知	実習配布を発展されている。 と発展を関するとは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	成果発表に向け 他人を思いや 業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	有・俳優 ーショりは と も も も と と と し く な と と と と く す る と る と る と る と る と る と る と る と る と る	女優 演出家 芝力を向上させ、より身体的表現の多様 該く目的を達する事を可能にする人間力 、一スな交流を可能にする。実社会においる。 。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を
教科書/教材 必要 l 担当教員情報 担当教員 笹倉舞 担当教	に応じて随時、課 舞・磯辺万沙子・ する学生は基礎演技 神的、肉体的に成身 かの能力は演劇界 好に保つ事は非常に 者(観客)に正確に ろん、演劇の作りで	果題のテキス 西久保治好 支川を通ことができることによる。 に伝えって協能	ト及び台本 学んだことを できまらず、劇を とを演劇を 技術の意味を知	配布 発展させ、原 を演技業界、もの理 を通してより理 より、作品を創	成果発表に向け 他人を思いや 業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	ーション能 し、粘り強 者とのスム 目的として	だ力を向上させ、より身体的表現の多様 食く目的を達する事を可能にする人間力 、一スな交流を可能にする。実社会においる。 。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を
担当教員情報 担当教員 笹倉舞	舞・磯辺万沙子・する学生は基礎演活神的、肉体的に成身の能力は演劇界好に保つ事は非常にはる。	西久保治好 支Ⅲを通じて等 長することができまままである。 に重要である。	学んだことを できる。基礎 どまらず、他 ことを演劇を 技術の意味を知	注発展させ、原 を演技Ⅲ同様、 他の業界、他等 注通してより理 とより、作品を創	成果発表に向け 他人を思いや 業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	ーション能 し、粘り強 者とのスム 目的として	だ力を向上させ、より身体的表現の多様 食く目的を達する事を可能にする人間力 、一スな交流を可能にする。実社会においる。 。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を
担当教員 笹倉野 <b>学習目的</b> この科目を受講 性を身につく を身につり できまでもい <b>到達目標</b> なのこででももるこの 教育方法等 俳優	する学生は基礎演技 神的、肉体的に成長 らの能力は演劇界 好に保つ事は非常に 好に保つ事は非常に お(観客)に正確に ろん、演劇の作りフ	支Ⅲを通じてき 長することが・芸能界にとる ・芸能界であるる に重要であるる に伝えられる打	学んだことを できる。基礎 どまらず、他 ことを演劇を 技術の基礎を 動の意味を知	を演技Ⅲ同様、 他の業界、他業 を通してより理 とより発展した こり、作品を創	成果発表に向け 他人を思いや 業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	ーション能 し、粘り強 者とのスム 目的として	だ力を向上させ、より身体的表現の多様 食く目的を達する事を可能にする人間力 、一スな交流を可能にする。実社会においる。 。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を
<b>学習目的</b> この科目を受講 性を身につく。これ も身につく。これ も身につくを良め <b>到達目標</b> 表現の内容が他 あることできるこ。 <b>教育方法等</b> 俳優	する学生は基礎演技 神的、肉体的に成長 らの能力は演劇界 好に保つ事は非常に 好に保つ事は非常に お(観客)に正確に ろん、演劇の作りフ	支Ⅲを通じてき 長することが・芸能界にとる ・芸能界であるる に重要であるる に伝えられる打	学んだことを できる。基礎 どまらず、他 ことを演劇を 技術の基礎を 動の意味を知	を演技Ⅲ同様、 他の業界、他業 を通してより理 とより発展した こり、作品を創	成果発表に向け 他人を思いや 業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	プロミュニケッり、共に協力 が活用され、他 になることを 着けることを	ーション能 し、粘り強 者とのスム 目的として	だ力を向上させ、より身体的表現の多様 食く目的を達する事を可能にする人間力 、一スな交流を可能にする。実社会においる。 。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を
性を身に着け、精神 も身につく。これの いて人間関係を良め <b>到達目標</b> 表現の内容が他な あることできること <b>教育方法等</b> 俳優	神的、肉体的に成身の能力は演劇界好に保つ事は非常に 好に保つ事は非常に 者(観客)に正確に ろん、演劇の作りで	長することができます。 ・芸能界にとる に重要である。 に伝えられる 方によって協信	できる。基礎 どまらず、他 ことを演劇を 技術の基礎を 動の意味を知	を演技Ⅲ同様、 他の業界、他業 を通してより理 とより発展した こり、作品を創	他人を思いや業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	り、共に協力 活用され、他 になることを 着けることを	し、粘り強 者とのスム目的として	会く目的を達する事を可能にする人間力 ヘースな交流を可能にする。実社会においる。 。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を
性を身に着け、精神 も身につく。これの いて人間関係を良め <b>到達目標</b> 表現の内容が他な あることできるこの <b>教育方法等</b>	神的、肉体的に成身の能力は演劇界好に保つ事は非常に 好に保つ事は非常に 者(観客)に正確に ろん、演劇の作りで	長することができます。 ・芸能界にとる に重要である。 に伝えられる 方によって協信	できる。基礎 どまらず、他 ことを演劇を 技術の基礎を 動の意味を知	を演技Ⅲ同様、 他の業界、他業 を通してより理 とより発展した こり、作品を創	他人を思いや業種においても 里解できるよう た形として身に がり上げること	り、共に協力 活用され、他 になることを 着けることを	し、粘り強 者とのスム目的として	会く目的を達する事を可能にする人間力 ヘースな交流を可能にする。実社会においる。 。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を
					こめに <i>あること</i>	を考えられる		ることを最終目標とする。
+巫 <del>***  </del> +m	俳優としての技術能力の向上を目指す。そして、基本を大切にした授業を引き続き行う。舞台総合実習に繋げるための準備として戯曲を様々な観点から考察する。演劇は共同作業であることから、作品を作り上げて行く過程で生ずる、様々な問題を、お互いの立場を尊重しながら解決していく方法を学び、演劇を通して、個人的にも集団的にも、尚且つ肉体的、精神的に成長したしたことを実感できる授業を目指す。							
注意点 ことを	原は切る、私語は慎む	等、社会の常識	<b>載的な行動は常</b>	常に意識するこ	と。課題には積	極的に取り組む	こと。社会	刻は認めない。携帯電話、スマートフォン 性無いものは役者としても大きな欠陥がある 03以上出席しない者は定期試験を受験する
種	割合 割合					備 考		
評 試験			己の能力をどれだけ高められたかを評価する					
	常点 30% <sup>果発表</sup> 30%	% 授業態度、授業参加の積極性を総合的に評価する						

## 授業計画(1回~10回)

□	授業内容	各回の到達目標
1 回	演ずるとは(1)	(短編台本)キャラクターの生い立ちなど、役柄の必然を解釈する
2 回	演ずるとは (2)	(短編台本)役を作る上での必要なことを理解する
3 回	演ずるとは(3)	(短編台本)役柄を考えた演技表現を目指す
4 回	演ずるとは(4)	(短編台本)総合的なパフォーマンスの重要性を理解する
5 回	舞台総合実習に向けて(1)	台本配布。作品を理解する。
6 回	舞台総合実習に向けて(2)	オーディションにより配役を決定し、自分の役に向き合い研究する
7 回	舞台総合実習に向けて(3)	作品をつくる際の役割、分担などを理解する
8回	舞台総合実習に向けて(4)	台詞の意味を考え、与えられた役を理解する
9 回	舞台総合実習に向けて(5)	それぞれの場を考察し、シーンを細かく分析する
10回	舞台総合実習に向けて(6)	各シーンを作り上げて行く過程を考える